

科目名		講師	山崎 達也	単位数	1
	論理的思考			時間数	30
<p>科目目的:論理的に思考し問題解決能力、記述方法を身につける</p> <p>科目目標:1. 論理的思考のための技術、論理形式、論証プロセスについて理解する</p> <p>2. 思考内容を論理的に記述する</p>					
講義回数	学 習 内 容				
14回	<p>1. イントロダクション:論理的に考える</p> <p>2. 演習1:接続表現の機能</p> <p>3. 演習2:議論の骨格をつかむ</p> <p>4. 演習3:論証のプロセス</p> <p>5. 演習4:演繹と推測</p> <p>6. 批判と誤謬</p>	<p>1)論理はいかに示されるか</p> <p>2)さまざまな接続表現の意味と働き</p> <p>3)文章を論理的に読む</p> <p>4)論証図の作り方</p> <p>5)推理のパターン</p> <p>6)筆者の意図と主題の見つけ方</p>			
評価	筆記試験				
テキスト					
備考	《わたし》とは何か、《時間》とは何かといった哲学的問いを考えて、論理的思考を訓練していく				

科目名	情報通信技術	講師	塩森 継紀	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：医療と看護における高度情報化に対応できるようにするために、コンピュータの活用技術及び看護に関する情報管理について学ぶ</p> <p>科目目標：1. 看護の情報の活用・管理と倫理の必要性を学び情報管理の方法が理解できる 2. 看護の現場において必要とされるコンピュータやインターネットの知識を活用できる 3. Word、Excel、Powerpointを活用ができる 4. 基本的な統計知識を学び、簡単な統計データ処理を行う能力を養う</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 高度通信情報社会と医療・看護の情報化	(1)高度情報通信社会への対応のしかた (2)看護におけるコンピュータの活用 (3)看護師におけるICTの活用～ITとICTとIoTの違い (4)病院における看護情報システム (5)情報化社会における個人情報の保護			
2～3回	2. コンピュータの動作原理	(1)パソコンの基本的な構成 (2)Windows OSが立ち上がるまでの処理の流れ (3)Windows上でプログラムが実行されるまでの処理の流れ			
2～3回	3. ネットワークリテラシー	(1)インターネットの仕組み (2)ホームページ、電子メール、ブログの仕組み (3)電子掲示板、SNS、ショッピングサイトの仕組み (4)ネットワーク+エチケット=ネチケット (5)インターネットの安全な歩き方 (6)ウイルスに感染しないために (7)詐欺や犯罪に巻き込まれないために (8)SNS利用上の注意 (9)情報倫理の歴史 (10)インターネット上の倫理問題 (11)事故・被害の事例とインターネットトラブルの相談窓口			
4～12回	4. コンピュータリテラシー	(1)Word基本操作 (2)Excelの基本操作 (3)テーブルとオートフィルタ (4)データ入力の技 (5)ピボットテーブルの使い方 (6)ピボットテーブルでアンケート分析 (7)アンケート分析における相関係数 (8)PowerPointの基本操作			
13～15回	5. 統計解析の基礎	(1)平均、度数分布、分散、標準偏差 (2)母集団の平均と分散の推定 (3)区間推定、信頼区間 (4)カイ2乗分布とカイ2乗検定			
評価	講義中に行う演習問題の成績，出欠状況，受講態度にもとづき総合的に評価を行う				
テキスト	プリント「情報通信技術」を配布する				
備考					

科目名	研究の基礎	講師	小森 うめの	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：看護を研究のプロセスに基づき、看護研究の基礎を学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 看護研究の概念と必要性が理解できる。 2. 看護研究の種類と特徴が理解できる。 3. 事例研究の進め方に沿って計画書を作成し、文献活用しながら事例研究ができる 4. 看護研究における倫理的配慮について理解し、記述できる。 5. 看護研究のクリティークについて理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 研究と実践活動	1) 研究の意義			
		2) リサーチクエスション			
		3) 看護における倫理			
2回	2. 研究の種類と特徴	文献検索			
		1) 文献検索の意義			
		2) 文献検索の方法			
		3) 文献整理の方法			
		クリティークの目的			
3回	3. 研究デザイン	1) 研究デザインの概要			
		2) 質的研究			
4回	4. 研究デザイン	3) 量的研究			
		4) データ収集と分析			
		5) 事例研究			
5回	5. 研究計画書の作成	1) 研究計画書とは			
		2) 学会発表			
		3) 論文作成			
6回	6. 研究計画書の作成	研究の実際 ①			
		1) 研究計画書の作成			
		2) 文献検索			
7回	7. 研究の実際	1) 研究計画書の作成			
		2) 文献検索			
		3) 論文作成			
12回		4) 発表準備			
13回	研究発表	研究の発表			
14回					
評価	筆記試験 課題レポート 研究・発表内容				
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護研究 (医学書院) 事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門 (日総研)				
備考					

科目名	人間工学	講師	塩森 継紀	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的：看護に必要な力学を学び、科学的思考に基づく基礎的知識を学ぶ</p> <p>科目目標：看護を科学的根拠に基づいて理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
8回	<p>1. 人間工学のあらましと数学的準備</p> <p>2. ボディメカニクスと質点に働く力のつり合い</p> <p>3. 力のモーメント(トルク)</p> <p>4. 重心</p> <p>5. 重心と安定性</p> <p>6. 作用・反作用の法則</p> <p>7. 摩擦力</p> <p>8. 看護師国家試験過去問題と実習「看護師がベッド上の患者の上半身を起こす手順の物理的考察」</p>	<p>1)人間工学と物理学</p> <p>2)数学的準備:三角比とベクトル</p> <p>3)練習問題</p> <p>1)ボディメカニクスとは</p> <p>2)ベクトルの成分と2力および3力のつり合い</p> <p>3)小テスト1</p> <p>1)力のつりあいと力のモーメント(トルク)</p> <p>2)力のモーメント(トルク)と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト2</p> <p>1)重心とは</p> <p>2)重心と力のモーメント(トルク)</p> <p>3)小テスト3</p> <p>1)重心と安定性</p> <p>2)安定性の条件と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト4、小テスト5</p> <p>1)ニュートンの運動の法則</p> <p>2)作用・反作用の法則と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト6</p> <p>1)摩擦力とは</p> <p>2)摩擦力と看護活動の関係</p> <p>3)小テスト7</p> <p>1)看護師国家試験過去問題</p> <p>2)「看護師がベッド上の患者の上半身を起こす手順の物理的考察」をテーマに実習を行い、手順のレポート作成と物理的考察の検討</p>			
評価	7回の小テスト、看護師国家試験過去問題、実習レポートの成績と出欠状況、受講態度にもとづき評価を行う。				
テキスト	初回の講義のとき、プリント「人間工学」と小テスト解答用紙を配布する。				
備考	初回の講義のとき、4人を1グループとしたグループ分けを行い、グループリーダーを選出する。小テストはグループ全員で検討して解答を作成し、提出する。				

科目名	教育学	講師	齋藤 博志 小森 うめの	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的 : 教育の視点から人間理解の基礎とし、生涯学習に向けて自己教育力を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 1. 現代社会において教育活動の営みを理解できる。 2. 人間の可能性を導き出す意義・方法を学び看護における教育活動に活用できる。 3. 学習の本質を理解し、自己教育力を身につける。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 教育とは	1)教育の目的			
2回	2. 教育に関わることについて	2)教育の働きかけ			
3回	3. 評価について	1)「教育」の語源について 2)「教育医療の相違点」			
4回		3)「教師と生徒」「看護師と患者」			
5回	4. 日本の学校制度の変遷について	〈マインドマップづくりに挑戦「看護師」〉			
6回	5. 学校教育と家庭・社会	1)評価とは 2)評価する理由			
7回	6. 現代の教育的課題	3)目標と評価の関係 4)評価の種類 5)行動目標と評価			
8回	7. これからの学校の在り方	1)教育の歴史			
9回	8. 教師力の向上	2)日本の近代教育の変遷			
10回	9. 生涯教育について	1)法と教育について			
11~14回	10. カンファレンス	2)家庭教育と実態			
		3)教育の限界			
		1)いじめ・不登校			
		いじめの構造といじめ不登校の現状			
		フリースクールと夜間学級			
		2)特別支援教育			
		1)公教育と学校教育・教員の役割			
		2)現行学習指導要領と令和の日本型学校教育			
		1)教師の勤務実態と現状			
		2)指導力向上と研修			
		1)カンファレンスとは			
		2)カンファレンスの目的と要素			
		3)カンファレンスのすすめ方			
		4)カンファレンスをやってみよう(GW)			
		5)発表			
評価	筆記試験 課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 (医学書院)				
備考					

科目名		講師	齋藤 正樹	単位数	1
家族社会学				時間数	30
<p>科目目的：社会における家族の機能・役割を学び、現代的問題について学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 介護、就労など看護・医療の持つ問題について理解できる。 2. 個人を支える家族の役割について理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
14回	1. 家族とは	1) 家族をめぐる基本概念 2) 家族の類型 3) 家族の変貌 4) わが国における家族の変貌 5) 家族看護の視点			
	2. 夫と妻のパートナーシップ (夫婦関係論)	1) 配偶者選択 2) 親密性と性愛の心理 3) 夫と妻の役割と常識(ジェンダー論の視点) 4) 夫と妻の葛藤と離婚			
	3. 親と子と孫の絆(親子関係論)	1) ペアレンティングとは 2) 母性論 3) 父性論 4) 祖父母の役割			
	4. 家族と社会	1) 家族の生活文化 2) 地域と家族 3) 職場と家族 4) 高齢社会と少子化			
	5. 患者家族と在宅ケア	1) 患者家族の臨床心理 2) 家族の介護機能の揺らぎと支援 3) 在宅ケアと家族のストレスマネジメント 4) 患者家族への看護ケア			
	6. 家族支援のアプローチ	1) 家族システム理論 2) 家族発達段階論 3) 家族への心理教育的方法 4) 家族への心理的援助の方法			
評価	筆記試験 課題レポート				
テキスト					
備考					

科目名	心理学	講 師	小澤 貴史	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：人間の心や行動を多面的に理解し、看護に必要な知識を学ぶ。</p> <p>科目目標：心理学の概念、人間の心の働きの基礎について理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	心理学と看護職	心理学の研究対象、歴史について			
2回	感覚・知覚	外界を理解する心のはたらきについて			
3回	記憶	記憶のメカニズムについて			
4回	思考・言語・知能	思考、言語とコミュニケーション及び知能について			
5回	学習	心理学における学習について			
6回	感情	感情のメカニズムについて			
7回	性格とパーソナリティ(1)	性格の理論について			
8回	性格とパーソナリティ(2)	性格の測定について			
9回	社会と集団	社会的認知、対人関係及びリーダーシップについて			
10回	発達(1)	乳幼児、児童・青年、成人・高齢者の発達について			
11回	発達(2)	アイデンティティとキャリアについて			
12回	心理臨床(1)	さまざまな心の問題について			
13回	心理臨床(2)	心理療法について			
14回	医療・看護と心理	医療・看護職、患者の心理について			
評価	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学(医学書院)				
備考					

科目名	カウンセリング	講 師	新屋 恭子	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的 : 様々な場面でカウンセリングスキルを活用する方法と意義について学ぶ。</p> <p>科目目標 : 自己をふりかえり、自己の課題や問題解決の方法を理解する。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	I カウンセリングの基礎知識	1. カウンセリングとは何か 2. カウンセリングの略史 3. カウンセリングの目的 4. カウンセリングの方法 5. カウンセリングの対象 6. カウンセリングの関係領域			
2回	II カウンセリング理論	1. カウンセリング療法の背景となる理論 2. カウンセリング療法			
3回	III カウンセリング技法	1. カウンセリングのプロセス			
4回		2. カウンセリングの基本姿勢			
5回		3. カウンセリングスキル 1) 非言語的技法 2) 言語的技法 3) 対話上の諸問題への対処法 4) 問題への対処法 5) (カウンセリングする際の) 心構え 6) カウンセリングする際の留意点 7) カウンセリング心理療法 8) カウンセリングの終結 9) カウンセリングの効果と成果			
6回	演習	ロールプレイ			
7回	IV 医療現場とカウンセリング	1. 看護にいかすカウンセリング患者の理解 2. 危機介入			
評価	筆記試験				
テキスト	看護学生のための心理学 (医学書院)				
備考					

科目名	人間関係論	講師	憶 あず紗	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：人間関係の基本を学び、看護実践における人間関係成立に必要な知識を学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 人間関係の意義、個人と社会的相互作用が理解できる。 2. カウンセリング理論の基礎が理解できる。 3. 看護における人間関係を成立させるためのコミュニケーションが理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
14回	<p>1. 人間関係の理解</p> <p>2. 社会的相互作用と社会的役割</p> <p>3. カウンセリングの基礎</p> <p>4. 看護における人間関係を成立させるためのコミュニケーション</p> <p>5. 人間関係の向上への技法</p>	<p>1) 人間関係とは</p> <p>2) 人間関係の基本的意義</p> <p>1) 人間関係における社会的相互作用</p> <p>(1) 傾聴</p> <p>(2) アイデンティティー</p> <p>(3) リーダーシップ</p> <p>2) 社会的役割</p> <p>1) カウンセリングとは</p> <p>2) 理論の特質</p> <p>来談者中心療法、精神分析療法、交流分析療法</p> <p>3) カウンセリングの技法</p> <p>(1) 傾聴</p> <p>(2) 共感的理解</p> <p>(3) 心理テスト</p> <p>1) コミュニケーション技法</p> <p>2) 援助的コミュニケーション</p> <p>3) 看護における人間関係</p> <p>1) 体験による学習効果</p> <p>2) 構成的な体験学習</p> <p>3) 感情表現</p>			
評価	筆記試験 課題レポート				
テキスト					
備考					

科目名	国際文化交流	講 師	大野 茉莉	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：他国の言語を通じて他国に関心を持ち、国際交流の意義を学ぶ。</p> <p>科目目標：諸外国の文化に触れ、国際的視野を高めることができる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 諸外国の文化について	1)異文化・習慣・歴史の学習 2)生活習慣や嗜好について ・グループワーク・発表			
2～10回	2. 外国語(中国語)	1)自己紹介 2)日常会話			
11～14回	3. 海外の学生との交流	1)異文化の理解とコミュニケーション 2)学習の共有			
評価	口述試験・課題レポート				
テキスト					
備考	海外研修旅行(8時間を含む)				

科目名	医用英語	講師	ミラー 京美	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的 : 医療・看護場面で使用する専門用語や表現を理解する。</p> <p>科目目標 : 1. 診療記録・看護記録に使われる用語を理解できる。 2. 主に看護師と患者との間で実際に交わされる 基本的な英会話を理解する。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1～14回	Unit 1 Unit 2 Unit 3 Unit 4 Unit 5 Unit 6 Appendix	EMERGENCY DEPARTMENT / 救急外来 MEETING THE PATIENT / 患者との顔合わせ GENERAL CARE OF PATIENTS / 入院患者の全般的ケア OPERATION ORIENTATION / 手術のためのオリエンテーション POSTOPERATIVE CARE / 術後のケア PATIENT DISCHARGE / 退院準備 Parts of a human body / 人体模式図(体の部位名) Human organs / 人体模式図(器官名) Skeleton / 骨格(骨の名前) List of Professionals and Departments in Hospital / 診療科や医療職などに関する単語 Measurement / 度量衡換算表			
評価	筆記試験・Hearing				
テキスト	ESSENTIAL ENGLISH for NURSES 看護英会話標準テキスト (日総研)				
備考					

科目名	健康とスポーツ	講 師	田村 由利子 奥村 有香理	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的 : 心身が健全であることの必要性や集団行動における役割と態度を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 1. 集団で目標を達成するために必要な、個人の責任、協調性、指導性を修得できる。 2. 健康や体力の保持増進に必要な知識と技能を修得できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1～5回	1. 健康と運動	1)実技 (1) 球技 (2)体力測定			
6～9回	2. レクリエーションと集団行動	1)レクリエーション (1)レクリエーションの意義 (2)集団行動とレクリエーション (3)レクリエーションの実際			
10～14回	3. ヨガ	ヨガ体験			
	4. アロマと癒し	アロマセラピー体験			
評価	実技試験 筆記試験				
テキスト					
備考					

科目名	芸術と癒し	講師	下田 美也子	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的 : 芸術や文化にふれ、人間の心身の相関について認識を深め、感性を磨き、創造力を高める。</p> <p>科目目標 : 音楽・芸術鑑賞をして、自己や他者を癒すことへの意味について考えられる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 芸術鑑賞	1) 観劇			
2回～6回	2. 創作活動	1) 合唱曲 (3部合唱)			
7回		2) 発表会			
評価	課題レポート				
テキスト					
備考	観劇鑑賞は時期により決める。				

科目名	地域とくらし	講師	藤倉 四郎 他	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的：八王子市の歴史や文化、環境に関心を持ち、人々の暮らしや地域の特性を学ぶ。</p> <p>科目目標：地域医療に貢献するために地域のニーズや社会資源などの状況が理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 八王子市の概要	1)歴史と市の沿革について			
2回	2. 八王子市の基本的な状況	1)人口動態 2)財政状況 3)まちづくり			
3～5回	3. 暮らしや医療の状況	1)福祉 2)健康と医療			
6回	4. 子どもや教育の状況	1)少子化対策 2)教育資源			
7回	5. 環境や産業の状況	1)環境対策 2)産業			
8回	6. 文化や芸術について	1)文化財の指定 2)特色ある芸術や芸能 「車人形」の鑑賞			
評価	2種の課題レポート				
テキスト					
備考					